

2 各事業の量的指標（アウトプット）、質的指標（1次的アウトカム）による評価

(1) 総括

○下層植生の回復、土壌流出の防止

人工林では、水源林整備を通じて下層植生の回復、土壌の保全が進んでいます。なお、シカ生息地（とくに丹沢山地の広葉樹二次林等）では、シカ対策と連携して取り組むことが重要となっています。また、自然林では、シカ管理・土壌保全対策を継続的・一体的に実施した場所で、下層植生の回復・土壌流出防止の効果が確認されています。

○植生の多様化

調査を実施した小仏山地と箱根外輪山のヒノキ林では、間伐して時間が経過すると高木性広葉樹の稚樹の種数が増加したり、樹高が高くなる傾向がありました。

○土壌の保全

小仏山地と箱根外輪山のスギ林とヒノキ林で林床被覆率（地表面に対する植物及び落葉落枝の比率）を測定したところ、小仏山地のヒノキ林では平均54%でしたが、他のところでは平均80～96%ありました。このことから、小仏山地のヒノキ林の一部を除いて土壌が保全されていると考えられます。

○野生生物等の生息環境

小仏山地では下層植生の植被率や種数が多いところでは林床性昆虫の種数や個体数も多くなる傾向がありました。林相別で比較すると、小仏山地では昆虫の種類や個体数はスギ林やヒノキ林よりも広葉樹林で多く、広葉樹林は比較的種類組成が特異なことがわかりました。

【水源の森林づくり事業の推進】

1期～2期 計画目標	第1期 (H19～H23)			第2期 (H24～H26)			8か年 の実績	進捗率
	実績	計画	進捗率	実績	計画	進捗率		
水源林確保： 11,755 ha	6,284ha	6,215ha	101.1%	3,385ha	5,540ha	61.1%	9,669ha	82.3%
水源林整備： 20,659 ha	10,325ha	9,592ha	107.6%	6,539ha	11,067ha	59.1%	16,864ha	81.6%
新規就労者の 育成：75人※				31人	75人	41.3%	31人	41.3%

※ 第2期からの数値目標を設定

【丹沢大山の保全・再生対策】

イ 土壌流出対策

1期～2期 計画目標	第1期 (H19～H23)			第2期 (H24～H26)			8か年 の実績	進捗率
	実績	計画	進捗率	実績	計画	進捗率		
土壌流出対策： 108.5 ha	79.4ha	58.5ha	135.7%	52.5ha	50ha	105.0%	131.9ha	121.6%

ウ ブナ林等の調査研究

気象・大気、ブナ衰退、ブナハバチ発生状況の調査

エ 県民連携・協働事業

県民協働による登山道整備、山のごみ対策、環境配慮型山岳公衆トイレへの転換

【溪畔林整備事業】

1期～2期計画目標	第1期 (H19～H23)			第2期(H24～H26)			8か年 の実績	進捗率
	実績	計画	進捗率	実績	計画	進捗率		
森林整備:35 ha	22.4ha	20ha	112.0%	12.0ha	15ha	80.0%	34.4ha	98.3%
植生保護柵の設置： 6,500 m	8,620m	4,000m	215.5%	1,909m	2,500m	76.4%	10,529m	162.0%
丸太柵等の設置： 6,600 m	2,626m	5,000m	52.5%	869m	1,600m	54.3%	3,495m	53.0%

【間伐材の搬出促進】

1期～2期計画 目標	第1期 (H19～H23)			第2期(H24～H26)			8か年 の実績	進捗率
	実績	計画	進捗率	実績	計画	進捗率		
間伐材搬出量： 157,500 m ³	46,224 m ³	50,000 m ³	92.4%	38,586 m ³	107,500 m ³	35.9%	84,810 m ³	53.8%

【地域水源林整備の支援】

1期～2期計画目標	第1期 (H19～H23)			第2期(H24～H26)			8か年 の実績	進捗率
	実績	計画	進捗率	実績	計画	進捗率		
私有林確保:2,277 ha	1,235ha	1,263ha	97.8%	809ha	1,014ha	79.8%	2,044ha	89.8%
私有林整備:2,639 ha	1,263ha	1,263ha	100.0%	842ha	1,376ha	61.2%	2,105ha	79.8%
市町村有林等の整備： 1,526ha	631ha	942ha	67.0%	366ha	584ha	62.7%	996ha	65.3%
高齢級間伐:1,580 ha	408ha	1,080ha	37.8%	91ha	500ha	18.2%	499ha	31.6%

※5か年計画では、年度ごとに数値目標を設定している。

○生態系（河川）の保全、水質の浄化

河川の保全・再生の取組については、自然石を用いた護岸整備や河床に瀬や淵を形成するなど、生態系に配慮した河川等の整備が進められているほか、河川内に浄化ブロックなどを設置する直接浄化対策を実施しています。

目標を上回る事業進捗により、河川・水路における自然浄化対策が進展し、水質調査の結果に大きな変化はないものの、底生動物の増加が確認された箇所もあるなど一定の効果が出てきています。

【河川・水路の自然浄化対策】

1期～2期 計画目標	第1期(H19～H23)			第2期(H24～H26)			8か年 の実績	進捗率
	実績	計画	進捗率	実績	計画	進捗率		
生態系に配慮した河川等の整備： 14箇所	16箇所	7箇所	228.6%	7箇所	7箇所	100.0%	23箇所	164.3%
直接浄化対策： 37箇所	9箇所	30箇所	30.0%	7箇所	7箇所	100.0%	16箇所	43.2%

○地下水の水位レベルの維持、水質の維持・改善

地下水の保全・再生の取組については、10市町において地下水保全計画に基づいて地下水のかん養対策事業、汚染対策事業等を実施しています。

このうち、7市町においては、地下水のかん養対策や汚染対策に取り組んでおり、地下水汚染のある地域では浄化装置による汚染対策を実施し、有害物質を着実に除去しています。

また、現在10市町において取り組んでいるモニタリング事業の結果では、概ね従前からの地下水の水位レベルを維持しています。

○生活排水（窒素・リン）の流入抑制

水源環境への負荷軽減の取組については、県内ダム集水域における公共下水道及び合併処理浄化槽の整備を実施しています。

公共下水道整備に関しては着手可能な地域から順次整備を進め、合併処理浄化槽整備に関しては丹沢湖集水域における一般家庭の浄化槽整備が着実に進捗するなど、これまでの取組により、年間にすると窒素約20t、リン約3tの負荷量が軽減されたこととなります。ただし、公共下水道については道路境界未確定などの課題があり、合併処理浄化槽整備については浄化槽を設置する家庭の個別事情など難しい課題も多いため、整備に時間を要しています。

【公共下水道の整備】

1期～2期 計画目標	第1期(H19～H23)			第2期(H24～H26)			8か年 の実績	進捗率
	実績	計画	進捗率	実績	計画	進捗率		
下水道普及率: 86%	53.4%	59%	70.4%	58.6%	86%	16%	58.6%	
整備面積: 414.7ha	144.8ha	206ha	70.3%	79.2ha	208.7ha	37.9%	224ha	54.0%

18年度末の下水道普及率は40.1%であったところ、26年度末では58.6%となりました。

【合併処理浄化槽の整備】

1期～2期 計画目標	第1期(H19～H23)			第2期(H24～H26)			8か年 の実績	進捗率
	実績	計画	進捗率	実績	計画	進捗率		
整備基数: 1,590基※	506基	500基	101.2%	260基	1,090基	23.9%	766基	48.2%
内 訳	市町村設置型	368基	200基	184.0%	※第2期は市町村設置型のみ			
	個人設置型	138基	300基	46.0%				

(2) 特別対策事業実績一覧

水源環境保全・再生事業会計（特別会計）

施策名の(◆)印は、市町村交付金対象事業

	19年度執行額	20年度執行額	21年度執行額
森林の保全・再生	【 26億 69万円】	【 27億4,251万円】	【 26億 5,139万円】
水源の森林づくり事業の推進	20億1,961万円 (一般会計分含め33億5,200万円) 水源林確保 1,382ha 水源林整備 2,059ha ※ 一般会計計上分を含む	17億2,543万円 (一般会計分含め30億5,735万円) 水源林確保 1,427ha 水源林整備 2,157ha ※ 一般会計計上分を含む。	15億8,844万円 (一般会計計上分含め29億1,681万円) 水源林確保 1,438ha 水源林整備 2,302ha ※ 一般会計計上分を含む。 (新) かながわ森林塾の開校 ・森林体験コース ・演習林実習コース
丹沢大山の保全・再生対策	9,692万円 土壌流出防止 6.6ha ブナ林等の調査研究	1億5,023万円 土壌流出防止対策 17.1ha ブナ林等の調査研究	1億8,808万円 土壌流出防止対策 21.1ha ブナ林等の調査研究
溪畔林整備事業	3,200万円 事業計画の策定	2,698万円 択伐等森林整備 37.6ha 植生保護柵の設置 2,043m 丸太柵等の設置 808m	3,944万円 択伐等森林整備 77.0ha 植生保護柵の設置 3,099m 丸太柵等の設置 456m
間伐材の搬出促進	6,559万円 間伐材搬出量 6,033m ³	7,393万円 間伐材搬出量 7,104m ³	9,812万円 間伐材搬出量 9,293m ³
地域水源林整備の支援(◆)	3億8,657万円 私有林確保 269ha 私有林整備 221ha 市町村有林等の整備 52ha 高齢級間伐 62ha	7億6,591万円 私有林確保 229ha 私有林整備 257ha 市町村有林等の整備 140ha 高齢級間伐 94ha	7億3,729万円 私有林確保 175ha 私有林整備 248ha 市町村有林等の整備 153 ha 高齢級間伐 91 ha
河川の保全・再生	【 2億6,740万円】	【 3億7,750万円】	【 2億5,720万円】
河川・水路における自然浄化対策の推進(◆)	2億6,740万円 河川等の整備 3箇所 直接浄化対策 3箇所	3億7,750万円 河川等の整備 10箇所 (新規8 累計11) 直接浄化対策 3箇所 (新規1 累計4)	2億5,720万円 河川等の整備 10箇所 (新規3 累計14) 直接浄化対策 8箇所 (新規5 累計9)
地下水の保全・再生	【 1億4,320万円】	【 1億1,250万円】	【 1億1,120万円】
地下水保全対策の推進(◆)	1億4,320万円 地下水保全計画の策定 かん養対策・汚染対策の実施 地下水モニタリング等の実施	1億1,250万円 地下水保全計画の策定 かん養対策・汚染対策の実施 地下水モニタリング等の実施	1億1,120万円 地下水保全計画の策定 かん養対策・汚染対策の実施 地下水モニタリング等の実施
水源環境への負荷軽減	【 1億7,110万円】	【 6億9,420万円】	【 8億2,270万円】
県内ダム集水域における公共下水道の整備促進(◆)	1億 470万円 下水道整備 28.6ha 下水道普及率 42.4%	4億7,540万円 下水道整備 28.2ha 下水道普及率 43.4%	5億6,640万円 下水道整備 35.4ha 下水道普及率 44.1%
県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進(◆)	6,640万円 市町村設置型事前調査 個人設置型 37基	2億1,880万円 市町村設置型 30基 個人設置型 83基	2億5,630万円 市町村設置型 124基 個人設置型 18基
水源環境保全・再生を支える取組み	【 6,324万円】	【 2億3,322万円】	【 2億7,245万円】
相模川水系流域環境共同調査の実施	1,534万円 私有林現況調査 生活排水処理実態調査	3,096万円 私有林現況調査 水質汚濁負荷量調査	1,960万円 水質汚濁負荷量調査
水環境モニタリング調査の実施	3,811万円 森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 情報提供	1億7,650万円 森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 情報提供	2億3,139万円 森林のモニタリング調査 ・ (新) 人工林整備状況調査 河川のモニタリング調査、情報提供
県民参加による新たな仕組みづくり	979万円 県民会議の設置・運営	2,575万円 県民会議の運営 市民事業等の支援	2,145万円 県民会議の運営 市民事業等の支援
新たな財源を活用する事業費の計	32億4,564万円	41億5,994万円	41億1,494万円
個人県民税超過課税相当額	35億9,104万円	43億7,856万円	40億5,190万円

※21年度執行額には20年度からの明許繰越

計上事業に係る平成19～23年度実績

22年度執行額	23年度執行額	第1期計画執行額 (5年間計(H19～23))(A)	第1期計画の内容 (5年間計(H19～23))(B)	進捗率 (A/B)
【22億4,401万円】	【28億6,013万円】	【130億9,875万円】	【107億4,700万円】 (年平均21億5,000万円)	121.9%
12億9,243万円 (一般会計分含め26億1,767万円) 水源林確保 1,364ha 水源林整備 1,945ha ※一般会計計上分を含む。 森林塾の実施	15億7,387万円 (一般会計分含め29億47万円) 水源林確保 672ha 水源林整備 1,863ha ※一般会計計上分を含む。 森林塾の実施	81億9,980万円 (一般会計分含め148億4,432万円) 水源林確保 6,284ha 水源林整備 10,325ha ※一般会計計上分を含む。 森林塾の実施	83億9,300万円 (一般会計分含め152億2,500万円) 水源林確保 6,215ha 水源林整備 9,592ha ※一般会計計上分を含む。	97.7% 101.1% 107.6%
1億6,949万円 土壌流出防止対策 16.8ha ブナ林等の調査研究	2億1,892万円 土壌流出防止対策 17.8ha ブナ林等の調査研究	8億2,366万円 土壌流出防止対策 79.4ha ブナ林等の調査研究	7億9,600万円 土壌流出防止対策 58.5ha ブナ林等の調査研究	103.5% 135.7%
2,925万円 択伐等森林整備 18.0ha 植生保護柵の設置 2,300m 丸太柵等の設置 820m	4,520万円 択伐等森林整備 10.6ha 植生保護柵の設置 1,178m 丸太柵等の設置 542m	1億7,289万円 択伐等森林整備 22.4ha 植生保護柵の設置 8,620m 丸太柵等の設置 2,626m	2億円 択伐等森林整備 20ha 植生保護柵の設置 4,000m 丸太柵等の設置 5,000m	86.4% 112.0% 215.5% 52.5%
9,946万円 間伐材搬出量 9,680m ³	1億6,368万円 間伐材搬出量 14,114m ³	5億79万円 間伐材搬出量 46,224m ³	4億900万円 間伐材搬出量 50,000m ³	122.4% 92.4%
6億5,336万円 私有林確保 224ha 私有林整備 258ha 市町村有林等の整備 144ha 高齢級間伐 86ha	8億5,844万円 私有林確保 338ha 私有林整備 278ha 市町村有林等の整備 142ha 高齢級間伐 76ha	34億159万円 私有林確保 1,235ha 私有林整備 1,263ha 市町村有林等の整備 631ha 高齢級間伐 408ha	9億4,900万円 私有林確保 1,263ha 私有林整備 1,263ha 市町村有林等の整備 942ha 高齢級間伐 1,080ha	358.4% 97.8% 100.0% 67.0% 37.8%
【1億6,030万円】	【2億7,370万円】	【13億3,610万円】	【11億2,200万円】 (年平均2億2,400万円)	119.1%
1億6,030万円 河川等の整備 7箇所 (新規1 累計15) 直接浄化対策 3箇所 (新規0 累計9)	2億7,370万円 河川等の整備 6箇所 (新規1 累計16) 直接浄化対策 0箇所 (新規0 累計9)	13億3,610万円 河川等の整備 16箇所 直接浄化対策 9箇所	11億2,200万円 河川等の整備 7箇所 直接浄化対策 30箇所	119.1% 228.6% 30.0%
【7,960万円】	【5,890万円】	【5億540万円】	【11億6,500万円】 (年平均2億3,300万円)	43.4%
7,960万円 地下水保全計画の策定 かん養対策・汚染対策の実施 地下水モニタリング等の実施	5,890万円 地下水保全計画の策定 かん養対策・汚染対策の実施 地下水モニタリング等の実施	5億540万円 地下水保全計画の策定 かん養対策・汚染対策の実施 地下水モニタリング等の実施	11億6,500万円 地下水保全計画の策定 地下水かん養対策・汚染対策、 地下水モニタリング等の実施	43.4%
【7億5,050万円】	【5億3,140万円】	【29億6,990万円】	【49億1,600万円】 (年平均9億8,300万円)	60.4%
5億4,100万円 下水道整備 32.1ha 下水道普及率 50.5%	3億1,080万円 下水道整備 20.5ha 下水道普及率 53.4%	19億9,830万円 下水道整備 144.8ha 下水道普及率 53.4%	42億7,000万円 下水道普及率 59% (18年度末 40.1%)	46.8% 70.4%
2億950万円 市町村設置型 115基	2億2,060万円 市町村設置型 99基	9億7,160万円 市町村設置型 368基 個人設置型 138基	6億4,600万円 市町村設置型 200基 個人設置型 300基	150.4% 184.0% 46.0%
【1億7,281万円】	【3億2,088万円】	【10億6,262万円】	【11億3,800万円】 (年平均2億2,800万円)	93.4%
454万円 補完調査、資料作成	548万円	7,594万円 私有林現況調査・機能評価 水質汚濁負荷量調査 生活排水処理実態調査	9,800万円 私有林現況調査・機能評価 水質汚濁負荷量調査 生活排水対策管理状況調査	77.5%
1億4,703万円 森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 情報提供	2億8,593万円 森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 情報提供	8億7,898万円 森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 情報提供	8億4,800万円 森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 情報提供	103.7%
2,124万円 県民会議の運営 市民事業等の支援	2,947万円 県民会議の運営 市民事業等の支援	1億770万円 県民会議の運営 市民事業等の支援	1億9,200万円 県民会議の設置・運営 市民事業等の支援	56.1%
34億723万円	40億4,502万円	189億7,278万円 (年平均37億9,455万円)	190億8,800万円 (年平均38億1,800万円)	99.4%
38億874万円	38億58万円	196億3,083万円 (年平均39億2,616万円)		

※3億2,708万円を含む。

水源環境保全・再生事業会計（特別会計）計上事業に係る

施策名の(◆)印は、市町村交付金対象事業	24年度執行額	25年度執行額	26年度執行額
森林の保全・再生	【 25億1,706万円】	【 26億7,075万円】	【 29億5,433万円】
水源の森林づくり事業の推進	13億 981万円 (一般会計分含め26億3,845万円) 水源林確保 1,323ha 水源林整備 2,034ha ※ 一般会計計上分を含む 森林塾(新規就労者の育成) 9人	14億 493万円 (一般会計分含め27億 831万円) 水源林確保 1,124ha 水源林整備 2,105ha ※ 一般会計計上分を含む 森林塾(新規就労者の育成)10人	15億9,398万円 (一般会計分含め29億 935万円) 水源林確保 938ha 水源林整備 2,400ha ※ 一般会計計上分を含む。 森林塾(新規就労者の育成) 12人
丹沢大山の保全・再生対策	2億7,915万円 中高標高域シカ捕獲、生息調査 土壌流出防止 18.5ha ブナ林等の調査研究	3億1,464万円 中高標高域シカ捕獲、生息調査 土壌流出防止 23.4ha ブナ林等の調査研究	3億8,668万円 中高標高域でのシカ捕獲等 土壌流出防止対策 10.6ha ブナ林等の調査研究
溪畔林整備事業	2,523万円 森林整備 6.3ha 植生保護柵の設置 628m 丸太柵等の設置 358m モニタリング調査	3,244万円 森林整備 3.1ha 植生保護柵の設置 989m 丸太柵等の設置 138m モニタリング調査	3,360万円 森林整備 2.6ha 植生保護柵の設置 292m 丸太柵等の設置 373m モニタリング調査
間伐材の搬出促進	1億5,865万円 間伐材搬出量 13,657m ³ 整備促進面積 354ha	1億4,507万円 間伐材搬出量 11,001m ³ 整備促進面積 296ha	1億9,851万円 間伐材搬出量 13,928m ³ 整備促進面積 314ha
地域水源林整備の支援(◆)	7億4,420万円 私有林確保 335ha 私有林整備 261ha 市町村有林等の整備 113ha 高齢級間伐 51ha	7億7,365万円 私有林確保 268ha 私有林整備 325ha 市町村有林等の整備 99ha 高齢級間伐 21ha	7億4,155万円 私有林確保 207ha 私有林整備 256ha 市町村有林等の整備 154ha 高齢級間伐 20ha
河川の保全・再生	【 1億579万円】	【 1億8,216万円】	【 2億2,850万円】
河川・水路における自然浄化対策の推進(◆)	1億579万円 河川等の整備 3箇所 直接浄化対策 3箇所 効果検証 (新規3) 相模湖における直接浄化対策	1億8,216万円 河川等の整備 4箇所 直接浄化対策 4箇所 効果検証 (新規1 継続3) 相模湖における直接浄化対策	2億2,850万円 河川等の整備 6箇所 直接浄化対策 6箇所 効果検証 (新規3 継続3)
地下水の保全・再生	【 5,930万円】	【 5,400万円】	【 6,580万円】
地下水保全対策の推進(◆)	5,930万円 かん養対策・汚染対策の実施 地下水モニタリング等の実施	5,400万円 かん養対策・汚染対策の実施 地下水モニタリング等の実施	6,580万円 かん養対策・汚染対策の実施 地下水モニタリング等の実施
水源環境への負荷軽減	【 4億8,050万円】	【 4億8,760万円】	【 7億3,380万円】
県内ダム集水域における公共下水道の整備促進(◆)	3億2,350万円 下水道整備 30.0ha 下水道普及率 55.1%	3億2,120万円 下水道整備 26.3ha 下水道普及率 55.9%	4億6,870万円 下水道整備 22.9ha 下水道普及率 58.6%
県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進(◆)	1億5,700万円 整備基数 86基(延べ人槽649人)	1億6,640万円 整備基数 83基(延べ人槽511人)	2億6,510万円 整備基数 91基(延べ人槽545人)
水源環境保全・再生を支える取組み	【 1億6,964万円】	【 3億6,557万円】	【 4億4,723万円】
相模川水系上流域対策の推進	2,959万円 荒廃森林再生事業 133ha 広葉樹の森づくり事業 3.4ha 生活排水対策(設備の設計)	1億2,133万円 荒廃森林再生事業 302ha 広葉樹の森づくり事業 2.7ha 生活排水対策(設備の設置工事)	5,521万円 荒廃森林再生事業 158.3ha 広葉樹の森づくり事業 4.1ha 生活排水対策(設備の稼動)
水環境モニタリングの実施	1億 614万円 森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 情報提供	2億 932万円 森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 情報提供	3億2,533万円 森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 人工林調査 情報提供
県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	3,390万円 県民会議の運営等 市民事業等の支援	3,491万円 県民会議の運営等 市民事業等の支援	6,668万円 県民会議の運営 市民事業等の支援
新たな財源を活用する事業費の計	33億3,229万円	37億6,009万円	44億2,967万円
個人県民税超過課税相当額	40億 442万円	40億8,018万円	39億 895万円

平成24～26年度実績

第2期計画執行額(3年間) (H24～26)(A)	第2期計画の内容 (5年間計(H24～28))(B)	進捗率 (A/B)
【81億4,215万円】	【125億3,800万円】 (年平均25億760万円)	64.9%
43億873万円 (一般会計分含め82億5,612万円)	67億4,900万円 (一般会計分含め134億900万円)	63.8%
水源林確保 3,385ha 水源林整備 6,539ha ※一般会計計上分を含む。 森林塾(新規就労者の育成) 31人	水源林確保 5,540ha 水源林整備 11,067ha ※一般会計計上分を含む。 森林塾(新規就労者の育成) 75人	61.1% 59.1% 41.3%
9億8,048万円	12億8,400万円	76.4%
土壌流出防止対策 52.5ha ブナ林等の調査研究	中高標高域でのシカ捕獲等 土壌流出防止対策 50ha ブナ林等の調査研究	105.0%
9,129万円	8,000万円	114.1%
面積 60ha 森林整備 12ha 植生保護柵の設置 1,909m 丸太柵等の設置 869m	面積 100ha 森林整備 15ha 植生保護柵の設置 2,500m 丸太柵等の設置 1,600m	60.0% 80.0% 76.4% 54.3%
5億223万円	12億8,500万円	39.1%
間伐材搬出量 38,586m ³ 整備促進面積 964ha	間伐材搬出 107,500m ³ 整備促進面積 3,660ha	35.9% 26.3%
22億5,941万円	31億4,000万円	72.0%
私有林確保 809ha 私有林整備 842ha 市町村有林等の整備 366ha 高齢級間伐 91ha	私有林確保 1,014ha 私有林整備 1,376ha 市町村有林等の整備 584ha 高齢級間伐 500ha	79.8% 61.2% 62.7% 18.2%
【5億1,645万円】	【17億7,100万円】 (年平均3億5,420万円)	29.2%
5億1,645万円	17億7,100万円	29.2%
河川等の整備 7箇所 直接浄化対策 7箇所	河川等の整備 7箇所 直接浄化対策 7箇所 相模湖における直接浄化対策	100% 100%
【1億7,910万円】	【3億2,200万円】 (年平均6,440万円)	55.6%
1億7,910万円	3億2,200万円	55.6%
地下水保全計画の策定 かん養対策・汚染対策の実施 地下水モニタリング等の実施	地下水保全計画の策定 地下水かん養対策、汚染対策 地下水モニタリング等の実施	
【17億190万円】	【34億4,700万円】 (年平均6億8,940万円)	49.4%
11億1,340万円	13億7,100万円	81.2%
下水道整備 79.2ha 下水道普及率 58.6%	下水道整備 208.7ha 下水道普及率 86%	16.0%
5億8,850万円	20億7,600万円	28.3%
市町村設置型 260基	整備基数 1,090基	23.9%
【9億8,244万円】	【14億5,200万円】 (年平均2億9,040万円)	67.7%
2億614万円	3億6,500万円	56.5%
荒廃森林再生事業 593.3ha 広葉樹の森づくり事業 10.2ha 生活排水対策(設備の稼働)	荒廃森林再生事業 1,280ha 広葉樹の森づくり事業 10ha 生活排水対策(0.6mg/l)	46.4% 102.0%
6億4,080万円	8億5,700万円	74.8%
森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 情報提供	森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 情報提供 酒匂川水系上流域の現状把握	
1億3,550万円	2億3,000万円	58.9%
県民会議の運営 市民事業等の支援	県民会議の運営 市民事業等の支援	
115億2,207万円 (年平均38億4,069万円)	195億3,000万円 (年平均39億600万円)	59.0%
119億9,356万円 (年平均39億9,785万円)		

(3) 施策大綱構成事業実績一覧

1 森林の保全・再生

※は特別対策事業

小柱	構成事業 ※[]は第1期の事業名	実施主体	H19~23 第1期	H24~26 第2期
水土保全の基盤整備	<p>■一般造林</p> <p>森林組合等が行う造林事業に対して助成を行うことなどにより、森林資源の確保と森林の公益的機能の増進を図っています。</p>	県	1,069百万円 造林 38.84ha 除間伐 2,635.22ha 下刈、枝打等	190百万円 造林 14.68ha 除間伐 188.38ha 下刈、枝打等
	<p>■治山</p> <p>森林の維持・造成により、水源かん養機能等の向上及び増進を図っています。</p>	県	7,756百万円 公共129箇所 単独220箇所 保安林改良等	2,795百万円 公共66箇所 単独90箇所 保安林改良等
	<p>■林道整備</p> <p>効率的な林業経営と適切な森林管理を行うための基盤となる林道づくりを行っています。</p>	県	5,550百万円 開設公共15路線 改良公共43路線 安全対策等	2,722百万円 開設公共3路線 改良公共34路線 安全対策等
	<p>■砂防</p> <p>砂防施設の整備を行うことにより、県民の生命・財産を守るとともに、土砂流出防止機能の向上を図っています。</p>	県	1,147百万円 堰堤30箇所 付属施設等	485百万円 堰堤23箇所 付属施設等
広域的水源林の整備	<p>■水源の森林づくり事業の推進 (※)</p> <p>水源の森林エリア内の私有林の公的管理・支援により、水源かん養機能等の公益的機能の高い水源林として整備しています。</p>	県	6,641百万円 無花粉・少花粉スギ 生産：118千本 出荷：112千本 ※ 水源林の確保・整備実績は、特別対策事業の中で表示	3,939百万円 無花粉・少花粉スギ 生産：72千本 出荷：50千本
	<p>■丹沢大山の保全・再生対策 (※)</p> <p>自然環境の劣化が継続している丹沢大山地域において、シカ捕獲、土壌流出防止対策、ブナ林等の調査研究や登山道補修などの県民協働事業に取り組んでいます。</p>	県	159百万円 保護柵の設置：3.8ha 丹沢大山ボランティアネットワーク加入団体数：31団体	—
	<p>■溪畔林整備事業 (※)</p> <p>水源上流の溪流沿いにおいて、土砂流出防止や水質浄化、生物多様性保全など森林の有する公益的機能を高度に発揮するための森林整備やモニタリングを実施しています。</p>	県	—	—
	<p>■優良林整備事業</p> <p>「かながわ森林基金」の運用益等により、基金で買入れた立木の保育管理及び利用間伐を行っています。</p>	県	67百万円 整備面積：80.81ha	22百万円 整備面積：60.09ha
	<p>■水源かん養林の整備 (相模原市緑区青根地区)</p> <p>奥相模湖上流に位置する水源かん養林を整備しています。</p>	利水者	109百万円 整備面積：95.59ha	55百万円 整備面積：28.2ha
	<p>■自然保護奨励金</p> <p>自然環境を保全するために、指定区域内の山林等の所有者に対して奨励金を交付しています。</p>	県	546百万円 交付面積：83,609.7ha	64百万円 交付面積：8,083.5ha

	<p>■自然公園管理 自然公園の適切な保全と利用について普及啓発するとともに、ビジターセンター等の維持管理や登山道等の施設整備を行っています。</p>	県	1,089百万円 自然公園歩道の整備： 24路線	633百万円 自然公園歩道の整備： 8路線
	<p>■自然公園における県民参加促進 緑を育む集い実行委員会やクリーンピア21などにより、自然公園内において適正管理のための調査・普及啓発、公園施設の維持管理やイベント等の活動に対する支援を行っています。</p>	県・市町村・NPO等	—	8百万円 県民参加による植樹事業：6回
	<p>■自然公園指導員等による普及啓発 ボランティア活動として公募により委嘱された自然公園指導員及びかながわパークレンジャーにより、自然公園の保護や適正な利用について、公園利用者に対し指導・普及啓発活動を行っています。</p>	県	45百万円 かながわパークレンジャーによる巡視・補修：547回 県民協働事業への参加：304回	27百万円 かながわパークレンジャーによる巡視・補修：237回 県民協働事業への参加：183回
	<p>■県営林等の管理 [県有林の管理] 県営林や承継分収林について、造林や下刈り、枝打ち、間伐などを実施し、公益的機能の充実した多彩な森林として整備しています。</p>	県	1,007百万円 造林 16.71ha 除間伐 721.78ha 下刈、枝打等	1,236百万円 造林 8.34ha 除間伐 1,091.58ha 下刈、枝打等
地域水源林の整備	<p>■地域水源林整備の支援 (※) 地域における水源保全を図るため、市町村が主体的に取り組む水源林の確保・整備を推進するほか、高齢級の私有林人工林の間伐を促進しています。</p>	県・市町村	—	—
	<p>■水源かん養林の整備 (箱根町北部) 箱根北部のイタリー水源等の水源林を整備しています。</p>	利水者	14百万円 広葉樹の植栽：480本 施工面積：1.43ha	11百万円 広葉樹の植栽：635本 施工面積：0.94ha
森林資源の有効活用	<p>■県産木材の安定生産の推進 [間伐材の搬出促進] 大規模所有者との生産協定の締結や、林業事業者が行う施業集約化や高性能林業機械の導入等生産性向上の取組に支援しています。</p>	県	13百万円 素材生産手法の導入：高性能林業機械16箇所	8百万円 高性能林業機械のレンタル：25件、39台
	<p>■県産木材の安定供給の推進 品質や産地の明確な県産木材製品の生産・流通を増強することに対して支援を行っています。</p>	県	227百万円 原木認証：6万7千m ³ 木材加工設備の支援	192百万円 原木認証：5万4千m ³ 生産協定：1万m ³ 木材加工設備の支援
	<p>■県産木材の需要・消費拡大の推進 住宅建築における県産木材の利用を促進するとともに、公共施設で県産木材を使用する際の支援等を行っています。</p>	県	367百万円 木造施設整備、内装の木質化：46施設 森林循環フェアの開催	171百万円 木造施設整備、内装の木質化：17施設 住宅フェアの開催等
	<p>■間伐材の搬出促進 (※) 森林資源の有効利用による森林整備を推進するため、間伐材の集材・搬出を支援しています。</p>	県	—	—
森林保全の担い手確保	<p>■林業担い手確保事業 林業従事者の就労条件改善のため、林業事業者への雇用及び経営改善指導を行うとともに、労働安全衛生の取組等を支援しています。</p>	県	46百万円 安全衛生巡回指導：128箇所 振動病検診：701人	2百万円 安全衛生巡回指導：49箇所 振動病検診：581名
	<p>■かながわ森林塾による人材育成 (※) 林業への就業希望者から、既に林業に従事している中級、上級技術者まで様々な技術レベルに応じた担い手育成の研修を実施しています。</p>	県	—	—
森林の保全・再生合計			25,852百万円	12,560百万円

2 河川の保全・再生

※は特別対策事業

小柱	構成事業 ※()は第1期の事業名	実施主体	実績額(百万円)	
			H19~23 第1期	H24~26 第2期
河川の環境整備	■河川・水路における自然浄化対策の推進 (※) 市町村管理の河川・水路等における良好な水源環境を形成するため、市町村が主体的に取り組む水辺環境の整備や直接浄化などを推進しています。	県・市町村	—	—
	■河川における多自然川づくりの推進 県が管理する水源河川の本支流において、多自然川づくりにより生態系に配慮した水辺環境の整備を行っています。	県	680百万円 護岸等工事 酒匂川(支流含む) : 746.9m 相模川(支流) 244m	108百万円 護岸等工事 酒匂川(支流含む) : 198m
	■河川美化対策の推進 不法投棄物・放置車両の撤去や草刈等を行い、良好な河川環境の形成を図っています。	県	553百万円	317百万円
	■健全な流砂系再生に向けた調査検討 ダム湖に流入した土砂のダム下流への置き砂など、流砂系の健全化に向けた取組を関係者とともに推進しています。	国・県等	532百万円	366百万円
	■農とみどりの整備事業 農業用水の安定供給等のために市町村が実施する生態系等の環境に配慮した農業用排水路の整備を支援しています。	市町村	257百万円	56百万円
ダム湖の環境整備	■ダム湖水質の直接浄化対策 ダム湖の自然浄化機能を高めるため、湖畔に植物浄化施設を整備するとともに必要な維持管理を行っています。	県・利水者	104百万円	38百万円
	■アオコ異常発生抑制対策 水源水質を良好な状態に保つため、エアレーション装置等によるアオコ異常発生抑制対策を推進しています。	県・利水者	319百万円	341百万円
	■ダム貯水池の堆砂対策 相模湖、丹沢湖における堆積土砂の除去及び流入土砂の抑制により、上流域の水害防止や貯水容量の回復を進めています。	県・利水者	8,743百万円 土砂除去量 相模湖: 92万6千m ³ 丹沢湖: 36万3千m ³	4,744百万円 土砂除去量 相模湖: 39万2千m ³ 丹沢湖: 22万4千m ³
	■湖面管理対策 ダム湖の湖面の流木や浮遊塵芥を除去し、健全な湖面の維持管理及び水質保全の取組を行っています。	県・利水者	334百万円 流芥処理実績 引揚: 20,137m ³ 処理: 19,350m ³	101百万円 流芥処理実績 引揚: 6,470m ³ 処理: 8,917m ³
河川の保全・再生合計			11,522百万円	6,071百万円

3 地下水の保全・再生

※は特別対策事業

小柱	構成事業 ※()は第1期の事業名	実施主体	実績額(百万円)	
			H19~23 第1期	H24~26 第2期
地下水の保全・再生	■地下水保全対策の推進 (※) 地下水を主要な水道水源として利用している地域を中心に、各市町村が主体的に取り組む地下水かん養対策や水質保全対策を推進しています。	市町村	—	—
	■地下水保全に関する広域調整及び規制・指導 地下水の採取規制や地下水汚染の浄化指導などを行うほか、地下水の保全・利用関係が広域に及ぶ場合の広域調整等に取り組んでいます。	県・市町村	138百万円	52百万円
地下水の保全・再生合計			138百万円	52百万円

4 水源環境への負荷軽減

※は特別対策事業

小柱	構成事業 ※()は第1期の事業名	実施主体	実績額(百万円)	
			H19~23 第1期	H24~26 第2期
生活系水質汚濁負荷の軽減	<p>■ 県内ダム集水域における公共下水道の整備促進 (※)</p> <p>県内ダム集水域の下水道計画区域において、平成38年度までに100%下水道整備を目指し、公共下水道整備の拡充を支援しています。</p>	市町村	—	—
	<p>■ 県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進 (※)</p> <p>県内ダム集水域における生活排水処理率の向上を目指し、合併処理浄化槽(高度処理型)の整備を支援しています。</p>	市町村	—	—
	<p>■ 県内水源保全地域における下水道の整備</p> <p>県内水源保全地域における生活排水処理率の向上を目指し、県が実施する流域下水道と市町村が実施する公共下水道の整備を進めています。</p>	県・市町村	24,618百万円 下水道普及率 85.6% → 87.9%	11,185百万円 下水道普及率 87.9% → 89.9%
	<p>■ 県内水源保全地域における合併処理浄化槽の整備</p> <p>下水道等の集合処理の適さない地域において、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進しています。</p>	市町村	211百万円	26百万円
生活系以外の水質汚濁負荷の軽減	<p>■ 山岳部における水質汚濁負荷の軽減 [環境配慮型トイレの整備]</p> <p>登山利用者等のし尿による水質汚染防止を図るため、山頂等に配置した環境配慮型山岳公衆トイレの適正な維持管理を行っています。</p>	県	14百万円 大山山頂公衆便所の改修	—
	<p>■ 環境保全型農業の推進</p> <p>土壌診断の実施及び農業者に対する技術的支援を行うことにより、土づくり運動の推進及び適正な土壌管理推進を図っています。</p>	県	8百万円 土壌診断：延1万7千件 窒素の溶脱防止対策を研究	4百万円 土壌診断：延1,066件 窒素の溶脱防止対策を研究
	<p>■ 農薬安全対策</p> <p>農薬による被害を防止するため、農薬の適正使用の指導や事故防止対策を行っています。</p>	県	6百万円 農薬使用者への講習会 延1700回、2万1千人	2百万円 農薬使用者への講習会 延906回、1万1千人
	<p>■ 廃棄物不法投棄対策</p> <p>人目に付きにくい県内水源保全地域内において、監視パトロールの集中的な実施及び監視カメラの設置、不法投棄物の撤去を行っています。</p>	県	44百万円 監視カメラの設置： 49箇所 不法投棄物の撤去： 82.2トン及び93.5m ³	14百万円 監視カメラの設置： 36箇所 不法投棄物の撤去： 234m ³
	<p>■ 産業系水質汚濁負荷の軽減</p> <p>水質汚濁防止法や県生活環境の保全等に関する条例等により、工場や事業場等の排水の規制・指導等を行い、水源水質の保全を図っています。</p>	県	23百万円	8百万円
	<p>■ 畜産系水質汚濁負荷の軽減</p> <p>家畜排せつ物管理施設の整備を推進しています。</p>	県	107百万円	7百万円
	<p>■ 水資源の大切さに関する普及啓発 [節水等に関する普及啓発]</p> <p>水資源展の開催や中学生水の作文コンクールの実施などにより、水資源の大切さを広く県民に訴え、節水など県民自身の取組を促進しています。</p>	県・利水者	1百万円 水資源展 年3~4箇所 で実施 中学生水の作文コンクールの実施	1百万円 水資源展実施(H24まで) 中学生水の作文コンクールの実施 応募総数 2,741編 参加校 延 39校
水源環境への負荷軽減合計			25,032百万円	11,247百万円

5 県外上流域対策の推進

※は特別対策事業

小柱	構成事業 ※()は第1期の事業名	実施主体	実績額(百万円)	
			H19~23 第1期	H24~26 第2期
県外上流域対策の推進	■[相模川水系流域環境共同調査の実施](※) 相模川水系県外上流域の森林の現況や桂川・相模川全流域の水質汚濁負荷の状況等について環境調査を実施します。	県	—	—
	■相模川水系県外上流域における森林整備(※) [県外上流域における水源林づくりの検討] 荒廃した森林を対象に、間伐や間伐に必要な作業道等の整備等を両県が共同事業として実施しています。	県等	—	—
	■相模川水系県外上流域における生活排水対策(※) [県外ダム集水域における生活排水対策の検討] 桂川清流センターにおいて、リン削減効果のある凝集剤による排水処理を両県が共同事業として実施しています。	県等	—	—
	■上流自治体と連携した上下流交流の検討 県域を越えた取組についての理解を促進するため、上下流交流活動の実施を検討しています。	県等	—	—
	■横浜市道志水源かん養林整備への負担 横浜市が道志村で実施している水源かん養林事業に対して、関係利水者が負担しています。	利水者	315百万円 間伐・枝打ち： 467ha 下刈り：50ha	210百万円 間伐・枝打ち： 258ha 下刈り：6ha
	■山梨県砂防工事への負担 相模湖に流入する土砂を防ぐため、相模川上流域において山梨県が行う砂防工事に対して、関係利水者が負担しています。	利水者	359百万円 完工堰堤：9箇所 完工流路：1箇所	194百万円 完工堰堤：8箇所 完工流路：1箇所
	■[上野原市の森林整備への助成] 相模貯水池保全事業の一環として、相模湖上流の山梨県上野原市が行う同市西原地区の新規植栽(10ha)等の森林整備に対して、関係利水者が助成しました。	利水者	37百万円 植栽面積：1.73ha 累計植栽面積：10ha	—
	県外上流域対策の推進合計			711百万円

6 水源環境保全・再生を支える活動の促進

小柱	構成事業 ※()は第1期の事業名	実施主体	実績額(百万円)	
			H19~23 第1期	H24~26 第2期
上下流連携の推進	■水源地域と都市地域の自治体間交流の促進 水源地域と都市地域の自治体間交流を促進し、都市地域住民の水源地域・水源環境に対する理解を深めています。	県・市町村等	— 〔自治体間交流事業〕 参加者数：2千人	— 〔自治体間交流事業〕 参加者数：9百人
	■流域環境保全行動の促進 相模川水系、酒匂川水系など上下流の自治体や市民等が連携した流域環境保全行動の一層の促進を図っています。	NPO等	14百万円 流域シンポジウムの開催 県域を越えた上下流住民の交流	7百万円
	■水源地域交流の里づくりの推進 水源地域の地域資源を活用した都市地域住民との交流事業の促進や交流の里イベント開催への支援などにより、水源地域の活性化をより一層推進しています。	県・市町村等	1,045百万円 里の交流祭参加者：50万1千人 自然体験交流教室参加者：1万3千人	536百万円 里の交流祭参加者：49万8千人 自然体験交流教室参加者：1万人

水環境教育・学習の推進	■ 県民参加による里山の保全 地域の貴重な資源である里山について、県民、企業、NPO、学校などと行政が、それぞれの役割を担いながら行う保全・再生を推進しています。	県等	45百万円	25百万円
	■ 森林等を活用した環境学習の推進 [森林を活用した環境学習の推進] 次世代を担う子どもたちを対象に、教育活動の一環として森林等の自然環境を活用した体験活動を行うなど、環境教育への取組を行っています。	県	—	—
	■ 森林とのふれあいの推進 森林づくりボランティア活動等の事業に対して助成を行い、県民参加による森林づくりの推進を図っています。	県	610百万円 森林施設の利用： 24万7千人 ボランティア活動への参加：4万3千人	336百万円 森林施設の利用： 13万9千人 ボランティア活動への参加：4万2千人
水源環境保全・再生を支える活動の促進合計			1,714百万円	904百万円

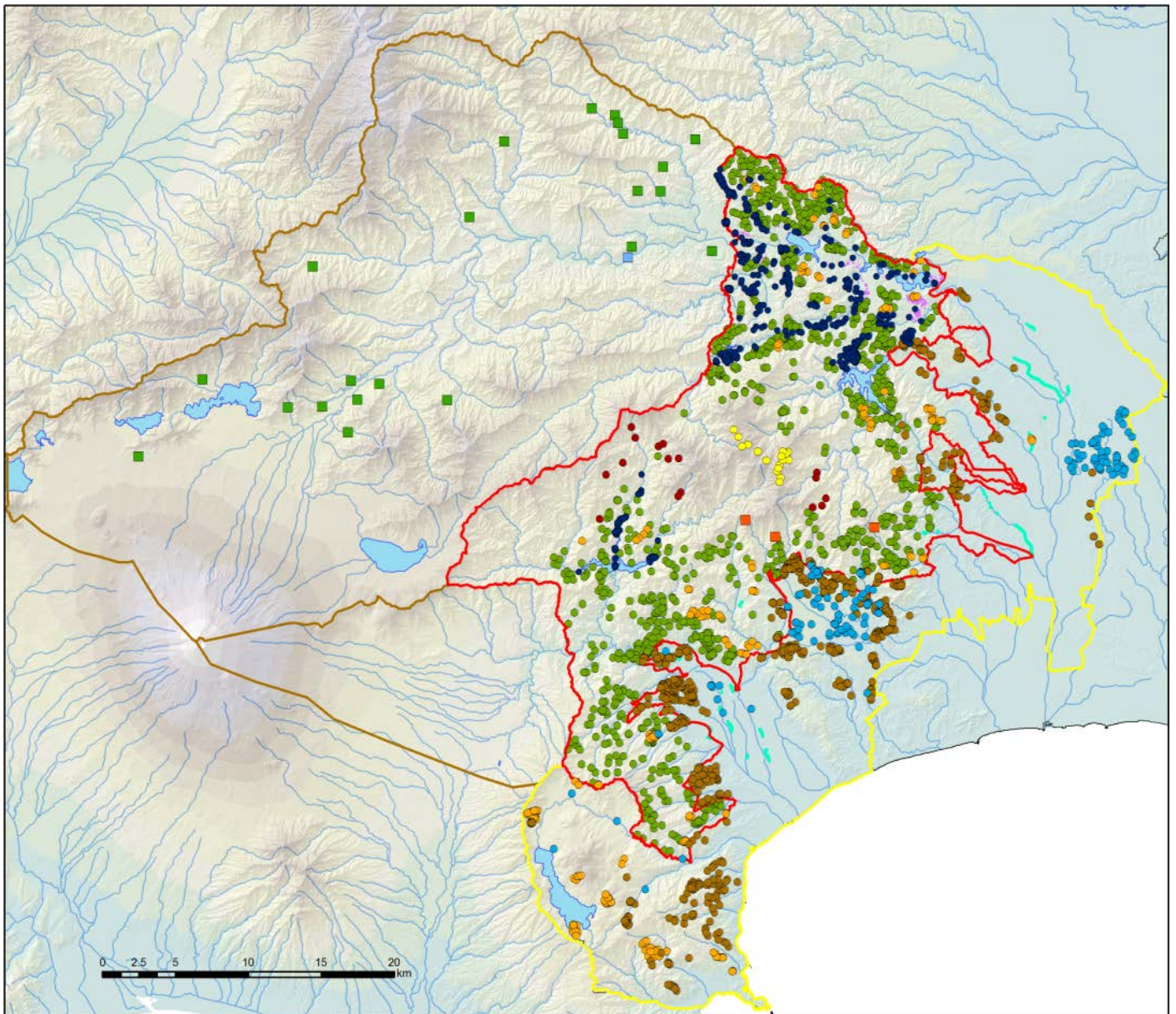
7 水源環境保全・再生を推進する仕組み

※は特別対策事業

小柱	構成事業 ※()は第1期の事業名	実施主体	実績額(百万円)	
			H19~23 第1期	H24~26 第2期
総合的な水環境調査の実施	■ 水環境モニタリングの実施 (※) 森林、河川などのモニタリング調査を行い、事業の実施効果の測定・公表を行います。また、酒匂川水系は、現在、水質に問題は無いものの、県内上水道の水源の3割超を占めていることから、水量・水質に影響を与える森林等の現状を把握しています。	県	—	—
	■ 水質汚濁防止法に基づく水質調査等 水質汚濁防止法に基づく水質調査や環境ホルモン、クリプトスポリジウム等の水質に係わる調査を実施し、安全な水の確保を図っています。	県	457百万円	187百万円
	■ 自然環境管理システムの整備 丹沢大山自然環境情報ステーション(e-Tanzawa)を活用して蓄積した、事業や調査等の各種情報を事業主体間で共有するとともに、県民への発信を行い、統合型、順応型、参加型の取組による丹沢大山の自然再生の着実な推進を図っています。	県	46百万円	11百万円
県民の意志を基盤として施策を推進	■ 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み (※) [県民参加による水源環境保全・再生のための新たな仕組みづくり] 水源環境保全・再生の取組を支える県民の意志を施策に反映し、施策の計画や事業の実施等に県民が直接参加する仕組みを発展させています。	県	—	—
市町村の取組を促進する仕組み	■ 水源環境保全・再生に係る市町村の取組を促進する仕組み (※) 「水源環境保全・再生市町村交付金」により市町村の取組を促進しています。	県	—	—
水源環境保全・再生を推進する仕組み合計			503百万円	198百万円

「施策大綱」事業合計	65,472百万円	31,436百万円
------------	-----------	-----------

(4) 特別対策事業の実施箇所 (H19~25)



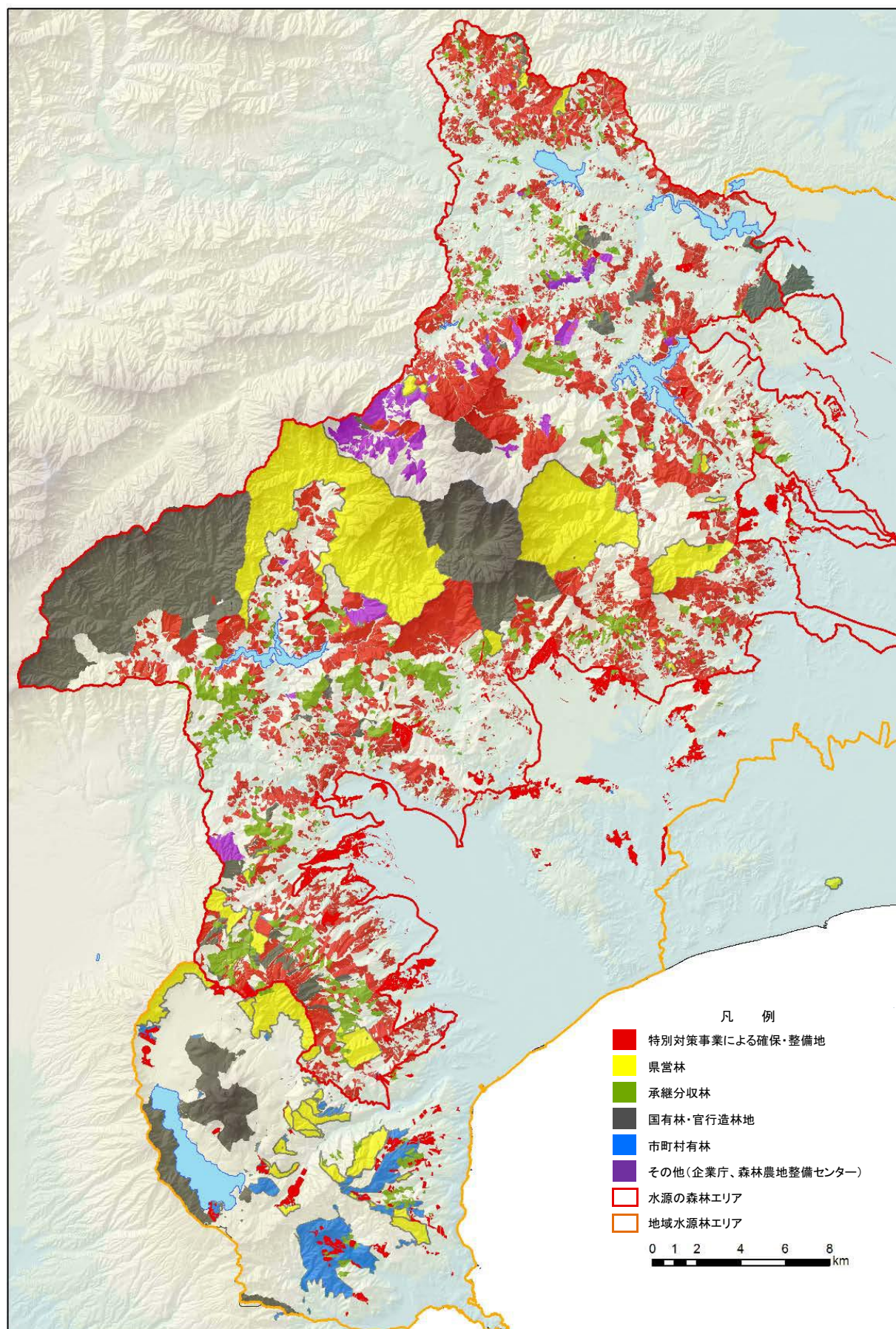
※ 森林や河川等の現場で対策事業を実施した地点（モニタリングや県民参加の取り組みは除く）

凡 例

- | | | | |
|---|-------------------------|---|-------------------|
| ● | 水源の森林づくり事業の推進 | □ | 水源の森林エリア |
| ● | 丹沢大山の保全・再生対策（土壌流出防止対策） | □ | 地域水源林エリア |
| ■ | 丹沢大山の保全・再生対策（登山道土壌流出防止） | □ | 県外上流域 |
| ● | 溪畔林整備事業 | | (相模川：山梨県、酒匂川：静岡県) |
| ● | 地域水源林整備の支援（私有林整備） | | |
| ● | 地域水源林整備の支援（市町村林整備） | | |
| — | 河川・水路における自然浄化対策の推進 | | |
| ● | 地下水保全対策の推進 | | |
| ■ | 公共下水道の整備促進 | | |
| ● | 合併処理浄化槽の整備促進 | | |
| ■ | 相模川水系上流域対策の推進（森林整備） | | |
| ■ | 相模川水系上流域対策の推進（生活排水対策） | | |

(5) 特別対策事業による公的管理森林の配置図

県内の水源エリアには、もともと国有林や県営林などがありますが、それらに加えて特別対策事業により、私有林・市町村有林を公的管理森林として確保して整備を行っています。（図の赤色部分）



※水源の森林づくり事業の確保地には、平成 18 年度までの確保地も含む